

第10回学会大会

期日 平成14年6月29日(土)

会場 常磐大学

講演

「『学力』とは何か(What)－これをどのようにして(How)育てるか」

講師 高久 清吉 先生 茨城実践学会会長
筑波大学名誉教授
茨城大学名誉教授
常磐大学大学院兼任教授

パネルディスカッション

「『学力』問題をどう受け止め、どう取り組んでいくか
－確かな学力の向上のための方策－」

パネリスト 矢板 睦美 先生 常陸太田市立太田小学校教諭
岡田 弘美 先生 竜ヶ崎市立中根台中学校教諭
森山 賢一 先生 常磐大学人間科学部助教授
コーディネイター 山口 豊一 先生 跡見学園女子大学教授

自由研究発表1

我が国における総合学習の歴史的考察

－「総合的な学習の時間」の理論構築にかかわって－

森山 賢一 常磐大学人間科学部
校内における栽培学習の体系化に関する考察

千葉 雄司 慶應義塾幼稚舎
森山 賢一 常磐大学人間科学部

児童一人一人がつくって表現する楽しみを味わえる音楽科学習の指導の在り方

－和太鼓を用いた地域音楽「河童ばやし」を取り入れたお囃子づくりの創造活動
を
通して－

藤岡 洋子 牛久市立向台小学校

自由研究発表2

メディア表現能力を育てる国語科授業のあり方

高木 輝夫 ひたちなか市立大島中学校

総合的な学習との関連を図った国語科学習の在り方

皆川 ひろ子 結城市立絹川小学校

歴史的事象に対する多面的な見方や考え方を育てる社会科学習の在り方

菊池 秀典 那珂町立第二中学校

多面的・多角的な見方や考え方を深める社会科学習の在り方

－単元構成や活動の場の工夫・改善を通して－

小林 正文 八郷町立有明中学校

自由研究発表3

人とかわりながら、課題解決を進め、自己の生き方を考えていくための支援の在り方

－小学校第5学年総合的な学習の時間「レッツトライボランティア」の実践を通して－

氏家 真理子 下館市立竹島小学校

学校不適応行動を予防するための一時的援助サービスの在り方

～生徒理解を深めるための「生徒再発見シート」の活用を通して～

白戸 文男 八郷町立園部中学校

心理社会的能力を高める援助指導の在り方

－小学校第5学年学級活動における「ライフスキルトレーニング」の実践を通して－

鈴木 和之 千代川村立蚕飼小学校

子どものゆれ動く心にどうむきあったらいいか

－目に見えないものの大切さに気づく共育・「眼聴耳視」－

柏 頼英 常磐大学非常勤講師

自由研究発表4

筋道を立てて考える能力を育てる算数科学習の在り方

－小学校第3学年「三角形と角」における作業的な活動の工夫と、児童相互に説

明し合う場を取り入れた指導を通してー

小中 克人 つくば市立竹園西小学校

社会性の育成を目指す好ましい人間関係づくりの在り方
～伝承遊びの特性を生かした異年齢集団活動を通して～

今井 達也 結城市立山川小学校

課題意識をもち、自発的、自主的な活動を展開する特別活動の在り方

安蔵 博幸 三和町立諸川小学校